

2017年(平成29年度)複数年サイクル点検評価レポート【施策評価】

分野名	Ⅲ 魅力と活力ある快適な地域づくりの推進	施策No.	32	施策名	暮らしやすい快適な都市環境の確保(騒音・振動の防止)
-----	----------------------	-------	----	-----	----------------------------

目的、内容	道路交通騒音について、2020年に環境保全目標を概ね達成(達成率95%以上)する。 航空機騒音対策について、大阪国際空港周辺における周辺緑地整備、民家防音工事等の環境対策を推進する。 工場・事業場や建設作業などの固定発生源、新幹線等の鉄道の対策を推進する。 低周波音について、実態調査等により知見の収集等に努める。				
副次的効果、外部効果等					
関係法令、行政計画等	騒音規制法、振動規制法 府生活環境保全条例 第9次大阪地域公害防止計画				
国等の政策、社会情勢等	2014年 4月:環境省「交通騒音問題の未然防止のための沿道・沿線対策に関するガイドライン」 2015年 7月:中央環境審議会「今後の自動車単体騒音低減対策のあり方について(第三次答申)」(四輪車走行騒音低減対策等) 2015年 11月:環境省「風力発電施設から発生する騒音等の評価手法に関する検討会報告書」				
(参考) 「講じた施策」に記載した施策事業コスト	2014年度(決算額)(千円)	2015年度(決算額)(千円)	2016年度(決算見込額)(千円)		
	241,499	230,717	273,175		
※各年度で「講じた施策」への掲載事業が異なることから、新規事業の有無等に関わらず、年度間でコストの増減がある。					
取組指標及び実績 (施策効果の定量評価)	名称	把握方法	実績		
	① 騒音に係る環境保全目標達成状況(一般地域)	府環境白書掲載データ	「昼・夜間とも基準値以下」の率 77.7%(2013年度)、81.0%(2014年度)、85.0%(2015年度)		
	② 騒音に係る環境保全目標達成状況(道路に面する地域)	同上	「昼・夜間とも基準値以下」の率 93.7%(2013年度)、94.2%(2014年度)、94.1%(2015年度) 2020年目標:95%		
施策の進捗状況	施策の内容	進捗状況*	主な事業の名称	事業内容・実施状況等	
	道路交通騒音対策				
	低騒音舗装の推進	☆☆	沿道環境改善事業	環境基準を超過し、住居等が連担する区間において、路面損傷状況に応じて低騒音舗装等による環境改善	
	沿道環境対策の推進	☆☆	沿道環境対策の推進	大阪府道路環境対策連絡会議(国土交通省大阪国道事務所、府、大阪市等で構成)の各関係機関との連携を図り、沿道における環境対策を推進	
	交通流対策の推進	☆☆	交差点改良、連続立体交差事業、道路・街路の整備	交差点改良や鉄道・道路の立体交差化、環状道路等の整備により交通渋滞を解消し、円滑な交通流の実現を推進	
	航空機騒音対策				
	周辺緑地整備	☆☆	空港周辺緑地整備事業	大阪国際空港周辺の騒音激甚地域における住環境の向上を図るべく、緑地を整備(2014.3都市計画事業終了)	
	民家防音工事等の環境対策の推進(関係機関と連携)	☆☆	大阪国際空港周辺地域空気調和機器機能回復工事等助成事業	公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律に基づき、関西エアポート(株)が行う民家防音工事助成事業に対し補助を実施	
	(その他)	☆☆	空港周辺における航空機騒音調査	大阪国際空港及び関西国際空港の周辺地域における航空機騒音を測定し、政策企画部と連携して関係機関の対策を推進(常時測定:3地点、随時測定:4地点、2014~16年度)	
	固定発生源、鉄道対策の推進(市町村と役割分担のもと)	☆☆	騒音・振動規制指導 市町村環境担当職員騒音・振動研修会	深夜における営業等の制限に係る規制、指導(未移譲の16市町村対象) 法・条例に基づく規制権限を有している市町村に対して技術的支援を実施 研修会:年3回(2014~16年度) 苦情相談受付:459件(2016年度)、検査分析支援:23件(2016年度)	
			鉄軌道騒音・振動対策の促進	沿線自治体との連携のもと、新幹線鉄道及び在来線鉄道の事業者による騒音・振動対策を促進	
	低周波音の知見の収集等	☆☆	低周波音問題に関する技術指導	「低周波音問題対応の手引書」(2004年6月環境省)に基づく苦情対応において、市町村で技術的に対応困難な測定や解析に関し、技術指導を実施	
	(定義なし)	☆☆☆	子ども施設地域共生応援事業	子ども施設における騒音等の苦情を未然に防止するため、有識者や関係団体の意見をふまえ、「子ども施設環境配慮手引書」を作成し、府内の子ども施設、市町村等に配布シンポジウム(約300人出席)を開催し、関係者の理解を促進	
	※進捗状況:☆☆☆計画以上の進捗/☆☆計画どおり/☆計画以下の進捗/△計画とは異なる事業内容で進捗				
評価		評価	理由等		
	施策目的の達成状況	順調に推移している	取組指標①については改善傾向 取組指標②については、2015年度は前年度と横ばいだが、長期的には改善傾向		
	事業・工程の進捗状況	計画どおり進捗している	道路交通騒音については、環境保全目標を達成できていない路線について、「大阪府道路環境対策連絡会議」を通じて、道路管理者等に対策の着実な推進を働きかけている。		
計画見直し又は改善事項		見直し・改善点の有無	見直し・改善点の内容等		
	目標	-			

	本文	無	
	工程表	—	
	その他の改善事項	無	
関係課室	環境管理室、都市整備部、政策企画部		

環境総合計画 部会委員による 点検（所見）	点検評価手法の適正さについて	評価結果について	計画の見直し又は改善方針について
	概ね妥当である。	「長期的には改善傾向」とあるが、長期的とはどの程度の年数を見ているのか？	概ね妥当である。